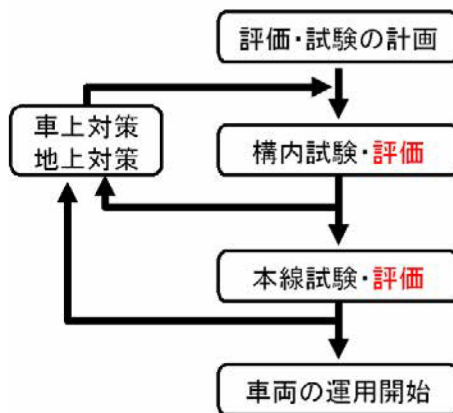


車上側のノイズが信号設備に与える影響を評価

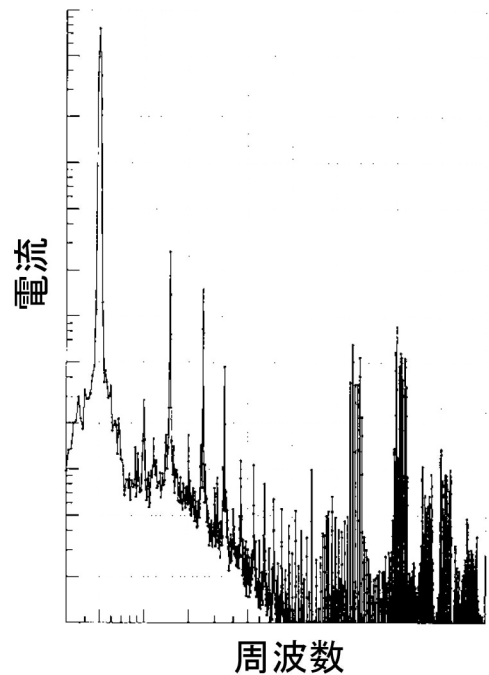
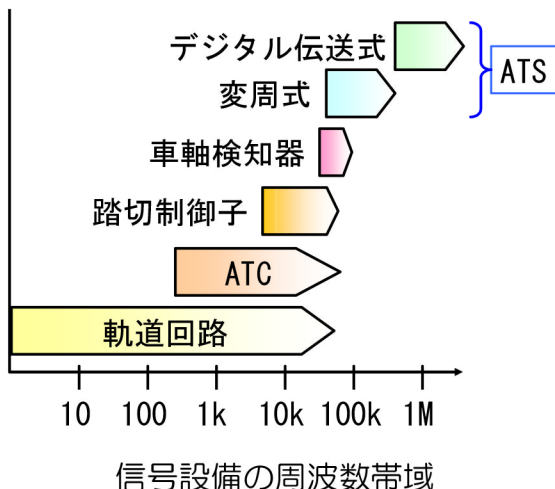
新製車両を導入する際、VVVF装置やSIV装置といった車上装置から発せられるノイズが、ATSや踏切制御子、軌道回路などの設備に対して影響を与えないことを確認する必要があります。鉄道総研では、試験方法のアドバイスを行うとともに、試験結果から対象となる信号設備に対する影響評価を実施しております。

【特徴】

- 本線試験の可否などを判断するための構内試験、最終的な車両運用を判断するための本線試験の順で実施します。
- 一般的な新車開発や機器更新と異なる特殊な試験の場合には、評価だけでなく実際の試験における測定も行います。



評価の流れ



帰線電流の測定例